

花きの県別生産出荷概況(5月見通し)

品目	県名	作型	主要品種	出荷期	作付面積	出荷見込み		5月のピーク(%)			主産地
				期間	ha	出荷総数	京浜地域向	上旬	中旬	下旬	
				(ピーク)	(前年比)	千本	千本				
						(前年比)	(前年比)				
アルストロメリア	山形	周年	アバランジェ エベレスト レモン プッチーニ、 ピンクサプライズ、 レベッカ他	周年 (4~5月)	9.2 (96%)	1200 (108%)	580 (101%)	40	30	30	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら
	青森	施設	イーグル	ほぼ周年 (4~7月)	1.69 99%	864 105%	() ()%	45	35	20	藤崎町
	長野	周年	ハニーソフィア ピンクサプライズ サンマリ レベッカ	周年 (4~5月)	2.7 (100%)	1800 (100%)	750 (100%)	50	30	20	上伊那 信州諏訪 松本ハイランド 佐久浅間
バラ	青森	施設		4~12月 (5・8月)	1.12 100	325 ()%	() ()%	35	35	30	つがる市 南部町
	茨城	施設	ローテローゼ、 ティネケ、パレオ、 オーシャンソング、 アマダ他	周年	11 100	550	450	40	40	20	つくば市、他
	群馬	周年	サムライ08 アヴァランチェ	周年 (5~11月)	12.8 (103%)	948 (101%)	730 (94%)	45%	30%	25%	前橋 甘楽富岡 利根沼田
	山梨	周年 冬期休眠	ローテローゼ、 サムライ等	周年	2.5 100%	120 100%	100 100%	35	35	30	笛吹市 御坂町
	静岡	施設	ローテローゼ サムライ アヴァランチェ	周年 3-5月		1900 100%	1700 100%	40	30	30	JA掛川市 JA大井川 JAしみず JA静岡市
	愛知	周年	サムライ08 レッドスター アヴァランチェ シンディ フレアー 他	4-3月 ()	() ()%	3400 99%	1900 99%	35	35	30	愛知みなみ ひまわり 豊橋 西三河
	大分	周年	Mシリーズ Jシリーズ その他各品種	周年 ()	8 (100%)	450 (120%)	230 (120%)	30	35	35	玖珠 九重飯田

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
アルストロメリア	山形	<ul style="list-style-type: none"> ・生育、開花は、気温の上昇や日射量の増加に伴い、概ね順調に推移している。 ・5月の出荷量は生育が順調であり、改植面積も少ないことから、昨年より多いと見込まれる。 ・病害虫の発生は少なく、切り花品質は良好である。 	<p>現状</p> <p>各産地、出荷数量が増加。入社式、入学式など一通り行事が終わってから相場は低調となった。冷え込みから咲き足が鈍り出荷数量は減少した。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 各産地、改植も本格化し徐々に減少傾向となる。それに伴い出荷のなくなる品種もでてくる見込み。上位等級も下旬に向けて減少傾向となる。 700,000本 @45</p> <p>FAJ 改植時期に入り、中旬より入荷数量減少。</p> <p>東日本板橋花き 愛知、福島、青森、北海道中心の出荷。気温上がり各産地出荷量が多くなる。</p> <p>世田谷花き 業務主体に引き合い有り。中旬に向けて数量落ち着く。</p> <p>第一花き 業務需要中心の中、概ね例年並み@60</p>
	青森	<ul style="list-style-type: none"> ・消雪も早く好天推移となっていることから、生育は順調。 ・4月下旬から5月にかけて増量する見通し。 	
	長野	<ul style="list-style-type: none"> ・4月以降は改植も進んでおり、母の日以降の数量は一気に減少する。6月からは夏作型となり、安定した数量の出荷となる。 	
バラ	青森	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は順調に推移しており、出荷開始時期については平年より早く4月中旬からの出荷となった。 ・母の日にかけてピークを迎える見通し。 	<p>現状</p> <p>メイン産地の静岡県、愛知県の出荷量が少なく、例年に比べ単価高で推移をしている。輸入品も昨年に比べ少なく、高単価で推移。 高冷地産の低温管理されていた品物の出荷が始まる。</p> <p>見通し</p> <p>大田花き 母の日の引き合いは赤、ピンク中心の引き合いに合わせ、輸入品の出荷が1週間のみある。中旬以降に本格的な高冷地の出荷が始まる。 3,000,000本 @75</p> <p>FAJ 母の日需要で月の前半は活発な取引見込まれる。</p> <p>東日本板橋花き 今後は入荷量は増えて来る見込み。母の日需要は赤・ピンク系中心に引き合いが強まる。</p> <p>世田谷花き 母の日含む連休中のプライダル需要に期待。</p> <p>第一花き 母の日・プライダル需要中心の流れで概ね昨年並みの流れ。SD@110 SP@100</p>
	茨城	<ul style="list-style-type: none"> ・品質は平年並みの見込み。 	
	群馬	<ul style="list-style-type: none"> ・雪害再建により前年を多少上回る出荷があるものの、平年を下回る。天候とともに生育は旺盛で順調にきており、目立った病害虫等の発生は特に見られない。 	
	山梨	<ul style="list-style-type: none"> ・生育は概ね順調でほぼ昨年並に推移している。出荷量も前年並の見込み。 	
	静岡	<ul style="list-style-type: none"> ・天候の影響から落ち着いた出荷となっておりシミやボトなどの発生も散見される。改植を開始している産地もあり、母の日も大きな増加もなく横ばいで推移する見込み。 	
	愛知	<ul style="list-style-type: none"> ・冷え込みや悪天候の影響で出荷量の少ない状態が続いており、今後の出荷量にも影響が出る可能性がある。 ・全体的に大きな出荷ピークはなくダラダラ出荷となる見込み。 ・改植が始まっているが、昨年と比較すると改植面積が小さいため大きな影響はない見込み。 	
	大分	<ul style="list-style-type: none"> ・徐々に増加中だが、天候による温度差が日々大きく不安定。4月末～5月頭で採花スタートとなる圃場もあるため安定的に数量が纏まるのは5月頭からとなる。 	

品目	県名	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
トルコギキョウ	茨城	一部でやや遅れ気味の産地あり。5月中下旬出荷の見込み。	<p>現状</p> <p>販売に関しては台湾産の出荷も終わり、国産の販売のみになる。数量は春だしの出荷が増えてきてはいるが、やや少な目で、相場は堅調に推移。中・下旬頃より、静岡、福岡、熊本中心に増加。</p>
	長野	早出しの産地が5月中旬からの出荷開始を見込んでいる。長野県の本格的な出荷スタートは6月中旬からの予定。	<p>見通し</p> <p>大田花き 静岡、熊本、福岡に加え千葉、茨城などの関東近在の数量も徐々に増えてくる見込み。数量は増え出し相場は徐々に軟調になってくる見込み。</p>
	静岡	生育遅れにより3月は微増したが、その後は天候の影響もあり伸び悩んでいる。2番花が増加するのは母の日以降になりそう。切上がりが遅れる見込み。	<p>FAJ 出荷量は高冷地など始まりまとまる予想。ロットまとまりやや落ち着いた販売に。</p> <p>東日本板橋花き 5月母の日まで相場は安定するが、母の日明け、各産地の植え替え分2番花が集中する</p>
	長崎	2番花の出荷が6月ピークに向けて段階的に増えてくる見通し。天候不順が続いているものの現時点では品質的には問題ない見通し。	<p>世田谷花き GW前に高知・熊本などから入荷増え、潤沢になりそう。</p>
	福岡	ピークは中～下旬になりそう。全体的に遅れ気味ではあるが、作付けを増やしているため、微増。一部奇形花が見られる産地もあるが、品質的には特段問題なし。2度切り分もあるが、量は多くない。今後の天候次第。	<p>第一花き 入荷数・品種も増加し品質も向上、母の日・ブライダル需要中心の流れで季節商材でも有り概ね昨年並みの流れ。@130</p>
	熊本	天候不順の影響により花しみが散見される。母の日に向かって4月中下旬頃から数量は増え始める。5月の連休ごろから2番花の出荷がはじまる見込み。	
	大分	天候が悪く、2週程度の生育遅れが見られる。県内4月上旬にシミが多くなっているため選花を厳しく行っている。各地の早生品種の2番花が出始めており、5月下旬にかけて増加見込み。県全体としては5月中旬以降に大幅増加となる見込み。	
小ギク	沖縄	秋小ギクの出荷は中旬まで続き、一部で夏秋ギクの出荷がある。配色割合は黄：白：赤＝43：22：35となっている。	<p>現状</p> <p>月を通して安定的な入荷となる。引き合いに関しては大きな需要無く小売り中心の動き。上位等級中心の入荷となる。</p>
			<p>見通し</p> <p>大田花き 沖縄産は中旬辺り迄は数量纏まるも、その後減少。夏秋産地に関しては作付けも少ない状況の為、中旬以降入荷少なめとなる。よって下旬に関しては引き合いも強めとなる。</p> <p>FAJ 沖縄出荷終盤に。茨城など関東産地が出荷開始に。</p> <p>東日本板橋花き 上旬、沖縄産中心、作付けは例年より若干減少の見込み。中下旬より静岡など出始め</p> <p>世田谷花き 上旬までは入荷は減らず、厳しい販売か。</p> <p>第一花き 業務需要主体の流れ、特に大きな需要も無い時期で入荷バランスによるところが大きい。@25</p>